

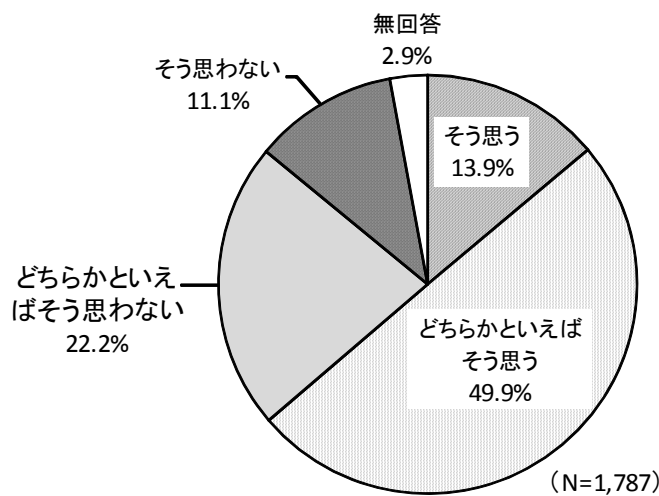
第6章 広報・インターネット

6-1 広報について

(1) 市民への情報提供

市民への市政情報の提供は「十分に行われている」との評価は63.8%。

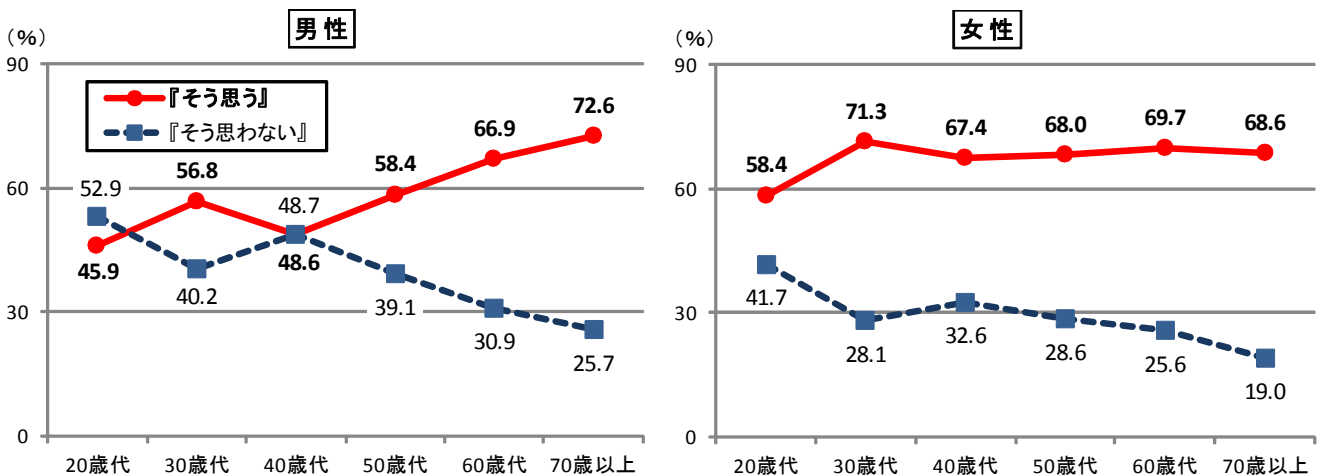
問 16 久留米市は、現在、広報紙をはじめ、ホームページやコミュニティFM、ケーブルテレビ、チラシ、パンフレットなど、さまざまな方法で皆さんに市政情報を発信しています。あなたは、これらの情報提供が十分に行われていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



■図6-1 性別・年齢別にみた市民への情報提供の評価

◇20歳代男性は『そう思わない』が『そう思う』を上回っている。

◇女性はどの年齢層でも『そう思う』が高くなっているが、20歳代で『そう思わない』が41.7%と他の年齢層より高い。



◆属性別特徴

【性別】女性は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が7割近くに上っており、男性に比べて評価が高い。

【年齢別】60歳以上では肯定的評価が約7割に上るが、20歳代では5割強にとどまっている。

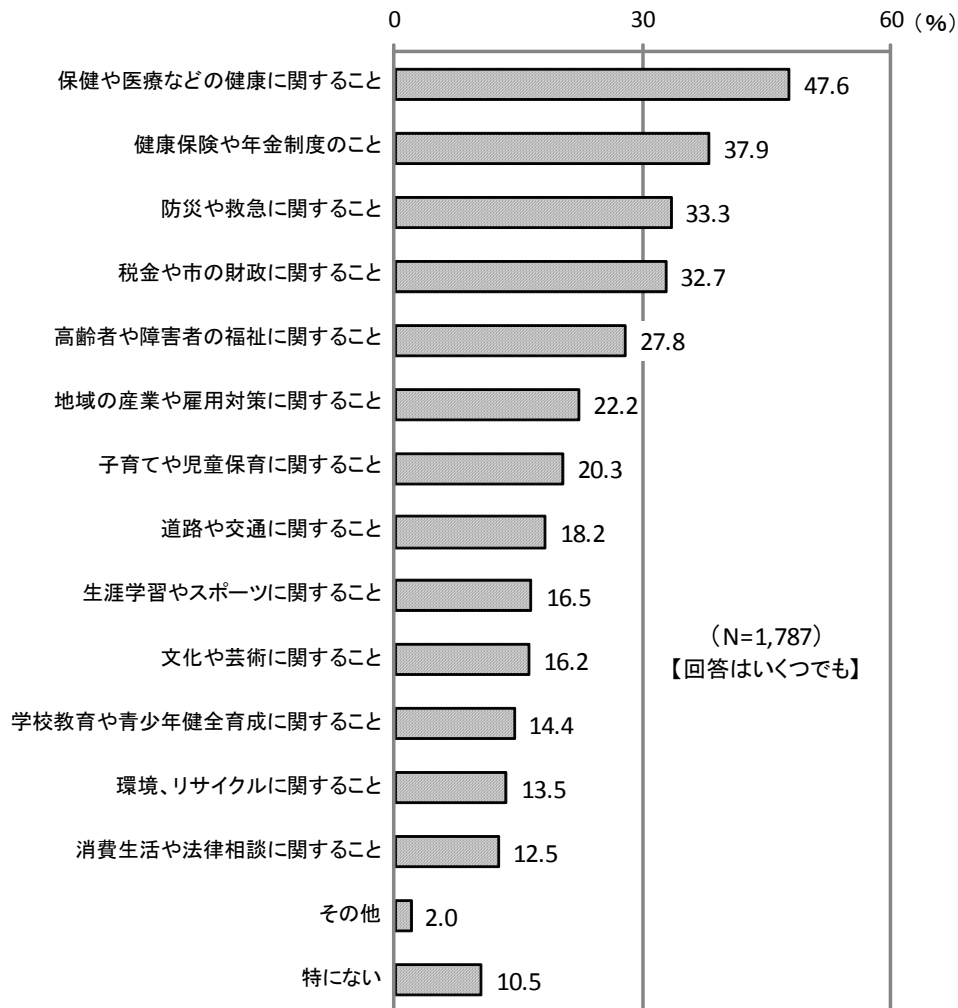
【ブロック別】いずれのブロックも6割から7割が肯定的に評価しており、全体的に大きな傾向の差はみられないが、南東部、中央部、東部Aは他の地域に比べて肯定的評価がやや高い。

	標本数 (票)	市民への情報提供が十分に行われているか (%)						
		そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	13.9 (248)	49.9 (891)	22.2 (397)	11.1 (199)	2.9 (52)	63.8 (1,139)	33.3 (596)
性別								
男性	821	12.4	46.4	25.0	13.9	2.3	58.8	38.9
女性	966	15.1	52.8	19.9	8.8	3.4	67.9	28.7
年齢別								
20歳代	195	11.8	41.0	28.7	17.9	0.5	52.8	46.6
30歳代	313	10.9	54.3	19.8	13.4	1.6	65.2	33.2
40歳代	288	10.4	47.2	26.0	14.9	1.4	57.6	40.9
50歳代	364	12.9	50.8	23.9	9.3	3.0	63.7	33.2
60歳代	393	17.3	51.1	19.8	8.1	3.6	68.4	27.9
70歳以上	234	19.7	50.9	16.7	5.6	7.3	70.6	22.3
ブロック別								
東部A	128	17.2	50.0	21.1	7.0	4.7	67.2	28.1
東部B(田主丸)	120	14.2	47.5	24.2	10.0	4.2	61.7	34.2
北部A	161	13.7	48.4	24.2	11.8	1.9	62.1	36.0
北部B(北野)	118	11.9	49.2	15.3	19.5	4.2	61.1	34.8
中央東部	227	13.2	48.0	23.8	13.7	1.3	61.2	37.5
南東部	187	17.6	51.9	21.4	5.3	3.7	69.5	26.7
中央部	220	12.7	56.4	20.9	8.6	1.4	69.1	29.5
中央南部	297	12.1	47.5	24.9	13.8	1.7	59.6	38.7
南西部	154	13.6	49.4	21.4	11.7	3.9	63.0	33.1
西部A(城島)	74	16.2	47.3	23.0	8.1	5.4	63.5	31.1
西部B(三潁)	101	12.9	51.5	19.8	10.9	5.0	64.4	30.7

(2)「広報くるめ」で知らせてほしい情報

「広報くるめ」で知らせて欲しい情報として「保健や医療など健康に関すること」「健康保険や年金制度のこと」「防災や救急に関すること」「税金や市の財政に関すること」への要望が高い。

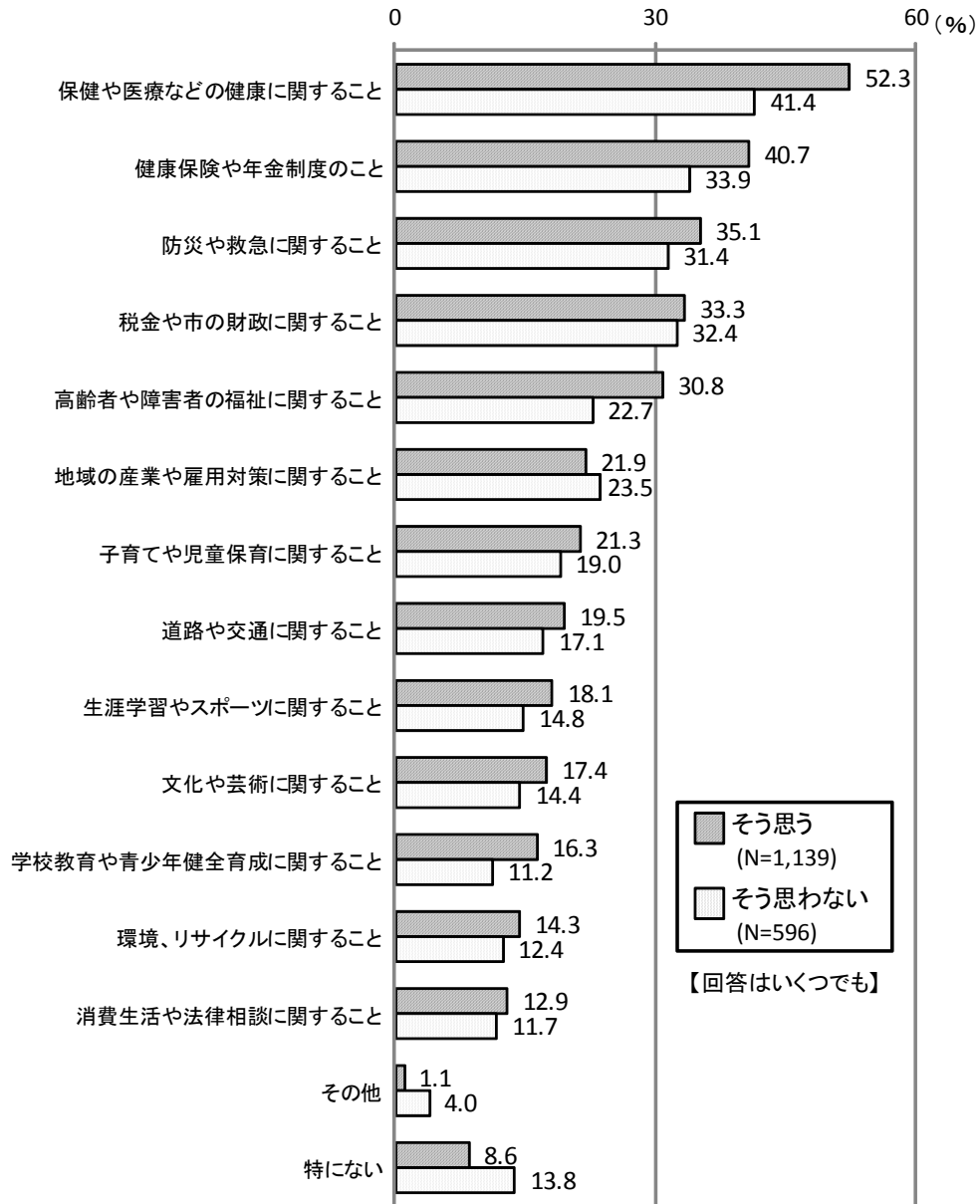
問 17 市の広報紙「広報くるめ」についておたずねします。あなたは、久留米市が取り組んでいる施策や事業について、特にどの分野の情報を知らせてほしいと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■図6-2 市民への情報提供が十分に行われているかの評価別にみた「広報くめ」で知らせてほしい情報

◇『そう思う』人も『そう思わない』人も「保健や医療などの健康に関すること」「健康保険や年金制度のこと」「防災や救急に関すること」が上位となっている。

◇「保健や医療などの健康に関すること」では『そう思う』と『そう思わない』に11ポイントの差があるのに対して、「税金や市の財政に関すること」や「地域の産業や雇用対策に関すること」ではあまり差がみられない。



『そう思う』……『そう思う』『どちらかといえばそう思う』の合計
『そう思わない』……『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』の合計

◆属性別特徴

【性別】女性は男性に比べ「保健や医療などの健康に関すること」「子育てや児童保育に関すること」が高い。男性では「税金や市の財政に関すること」「道路や交通に関すること」がやや高くなっている。

【年齢別】

- ・「高齢者や障害者の福祉に関すること」は 60 歳以上で高くなっている。
- ・「健康保険や年金制度のこと」は 50 歳以上で4割を超えており高い。
- ・「子育てや児童保育に関すること」は 20 歳代、30 歳代で高く、特に 30 歳代では 45.7%に上る。また、30 歳代では「学校教育や青少年健全育成に関すること」も他の年代に比べ高くなっている。

【ブロック別】

- ・「保健や医療などの健康に関すること」「環境・リサイクルに関すること」「防災や救急に関すること」「文化や芸術に関すること」はいずれも中央部で他のブロックより高くなっている。
- ・「健康保険や年金制度のこと」は西部Bや東部Aでやや高い。

【市民への情報提供の評価別】

- ・市民への情報提供が十分だと思う人は、ほとんどの項目でそう思わない人に比べて比率が高くなっており、情報を受け取っている様子がみとれる。

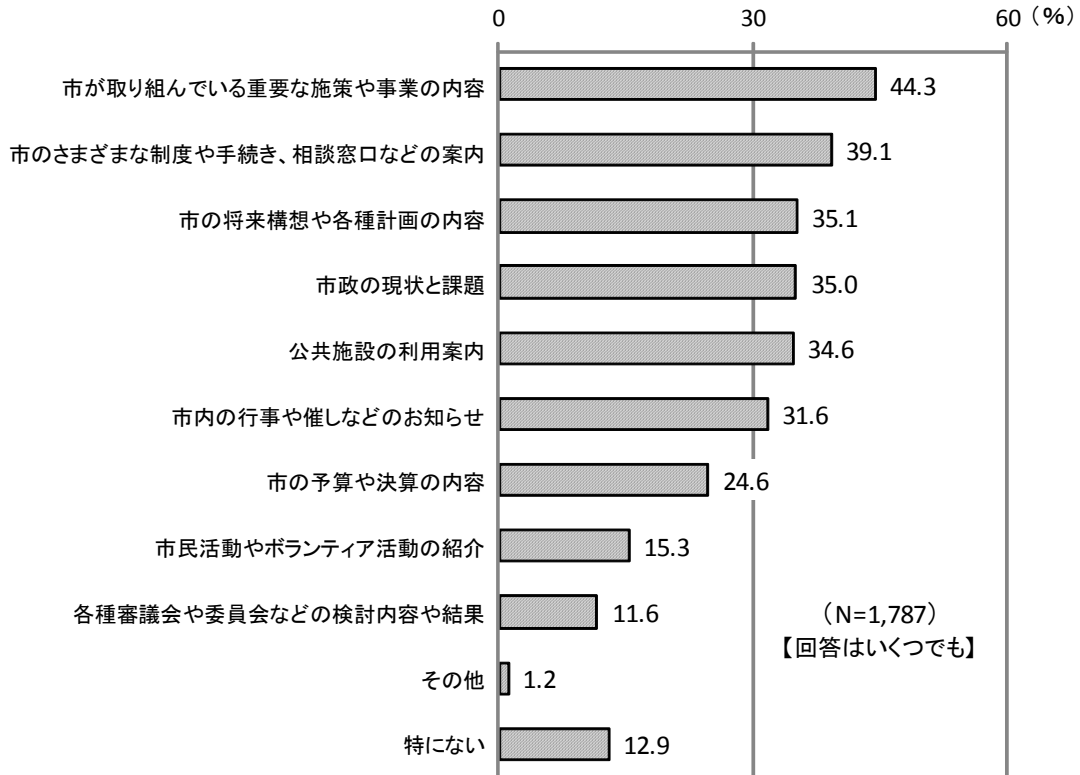
		標本数(票)	「広報くろめ」で知らせてほしい情報の分野 (%)																
			健康に関すること	保健や医療に関すること	高齢者や障害者の福祉	健康保険や年金制度	税金や市の財政に関すること	消費生活や法律相談	環境・リサイクル	子育てや児童保育	学校教育や青少年健全育成	防災や救急	生涯学習やスポーツ	道路や交通	文化や芸術	地域の産業や雇用対策	その他	特になし	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	47.6 (851)	27.8 (496)	37.9 (677)	32.7 (584)	12.5 (223)	13.5 (241)	20.3 (362)	14.4 (257)	33.3 (595)	16.5 (295)	18.2 (326)	16.2 (289)	22.2 (397)	2.0 (36)	10.5 (187)	2.2 (40)	
性別	男性	821	42.4	26.1	36.1	35.6	12.7	12.3	16.8	13.2	32.8	15.2	22.3	14.7	22.4	2.6	12.3	2.2	
	女性	966	52.1	29.2	39.4	30.2	12.3	14.5	23.2	15.4	33.7	17.6	14.8	17.4	22.0	1.6	8.9	2.3	
年齢別	20歳代	195	37.4	15.4	26.7	28.7	10.8	14.4	32.8	11.3	29.7	22.1	16.4	20.0	26.2	2.1	19.0	0.5	
	30歳代	313	51.8	16.9	33.2	34.2	9.6	13.1	45.7	24.3	36.4	14.7	17.3	13.4	23.0	2.6	9.9	1.0	
	40歳代	288	46.2	20.5	34.4	32.6	18.1	13.9	19.8	19.1	34.4	20.1	22.2	13.9	26.7	2.8	10.4	2.4	
	50歳代	364	53.6	26.9	42.3	32.7	14.6	14.8	10.4	10.2	35.7	19.8	20.3	20.1	25.0	1.4	7.1	3.0	
	60歳代	393	46.8	38.2	41.7	33.3	11.2	14.2	10.7	10.2	32.6	14.0	17.0	15.0	18.3	1.0	9.2	2.0	
	70歳以上	234	44.4	45.3	44.4	32.9	9.8	9.4	7.7	11.5	28.2	9.0	15.0	15.4	14.5	3.0	11.5	4.3	
	性別×年齢別	男性:20歳代	87	27.6	17.2	21.8	31.0	11.5	12.6	28.7	11.5	24.1	23.0	20.7	16.1	18.4	3.4	27.6	-
男性:30歳代		132	45.5	15.2	33.3	39.4	10.6	12.1	34.8	22.0	31.8	11.4	20.5	12.1	25.8	3.0	11.4	1.5	
男性:40歳代		150	41.3	14.0	30.0	38.0	19.3	11.3	19.3	16.0	36.7	19.3	25.3	10.7	24.7	3.3	13.3	3.3	
男性:50歳代		161	46.6	18.6	36.0	32.9	14.3	13.7	8.1	8.1	36.0	14.9	27.3	16.1	25.5	1.9	6.8	4.3	
男性:60歳代		178	43.8	39.3	42.7	31.5	10.7	13.5	8.4	9.6	33.7	13.5	20.2	16.3	20.2	1.7	11.8	1.7	
男性:70歳以上		113	43.4	51.3	47.8	41.6	8.0	9.7	8.8	13.3	29.2	11.5	17.7	17.7	17.7	2.7	8.8	0.9	
女性:20歳代		108	45.4	13.9	30.6	26.9	10.2	15.7	36.1	11.1	34.3	21.3	13.0	23.1	32.4	0.9	12.0	0.9	
女性:30歳代		181	56.4	18.2	33.1	30.4	8.8	13.8	53.6	26.0	39.8	17.1	14.9	14.4	21.0	2.2	8.8	0.6	
女性:40歳代		138	51.4	27.5	39.1	26.8	16.7	16.7	20.3	22.5	31.9	21.0	18.8	17.4	29.0	2.2	7.2	1.4	
女性:50歳代		203	59.1	33.5	47.3	32.5	14.8	15.8	12.3	11.8	35.5	23.6	14.8	23.2	24.6	1.0	7.4	2.0	
女性:60歳代		215	49.3	37.2	40.9	34.9	11.6	14.9	12.6	10.7	31.6	14.4	14.4	14.0	16.7	0.5	7.0	2.3	
女性:70歳以上		121	45.5	39.7	41.3	24.8	11.6	9.1	6.6	9.9	27.3	6.6	12.4	13.2	11.6	3.3	14.0	7.4	
ブロック別		東部A	128	50.8	23.4	42.2	27.3	10.9	9.4	25.8	10.9	33.6	14.1	21.1	16.4	25.0	0.8	7.8	0.8
		東部B(田主丸)	120	44.2	22.5	33.3	30.8	5.8	9.2	15.8	7.5	30.0	14.2	15.0	9.2	20.8	3.3	17.5	4.2
	北部A	161	46.0	26.7	28.6	33.5	12.4	14.9	19.9	18.6	32.3	19.9	20.5	12.4	19.3	3.7	8.1	1.2	
	北部B(北野)	118	40.7	30.5	39.0	33.9	6.8	7.6	15.3	11.9	21.2	12.7	14.4	10.2	19.5	1.7	15.3	0.8	
	中央東部	227	45.8	23.8	38.3	32.2	10.6	10.6	20.3	11.9	30.4	19.4	17.6	15.9	19.4	1.8	11.5	1.8	
	南東部	187	44.9	31.0	38.5	28.9	13.9	15.0	23.5	16.6	32.6	10.2	20.3	12.8	23.5	2.1	11.2	1.1	
	中央部	220	54.1	30.0	40.0	37.3	17.3	19.5	21.8	15.9	43.6	22.7	20.9	27.7	19.5	-	6.8	2.3	
	中央南部	297	48.5	32.3	37.0	32.0	14.8	16.5	20.5	17.2	37.7	17.2	16.5	19.5	27.6	2.7	9.8	2.7	
	南西部	154	48.7	24.0	39.6	33.8	11.7	11.0	18.2	14.3	33.8	16.9	17.5	13.6	26.6	2.6	10.4	3.2	
	西部A(城島)	74	45.9	31.1	37.8	37.8	10.8	9.5	18.9	12.2	29.7	9.5	17.6	9.5	21.6	-	10.8	2.7	
西部B(三瀨)	101	50.5	25.7	44.6	33.7	15.8	16.8	18.8	14.9	26.7	15.8	17.8	17.8	15.8	3.0	9.9	5.0		
提供情報評価	そう思う	1,139	52.3	30.8	40.7	33.3	12.9	14.3	21.3	16.3	35.1	18.1	19.5	17.4	21.9	1.1	8.6	0.9	
	そう思わない	596	41.4	22.7	33.9	32.4	11.7	12.4	19.0	11.2	31.4	14.8	17.1	14.4	23.5	4.0	13.8	1.5	
	無回答	52	15.4	19.2	21.2	23.1	11.5	7.7	11.5	7.7	15.4	1.9	3.8	9.6	13.5	-	13.5	40.4	



(3) 市民が久留米市の施策を身近に感じるために必要な情報発信

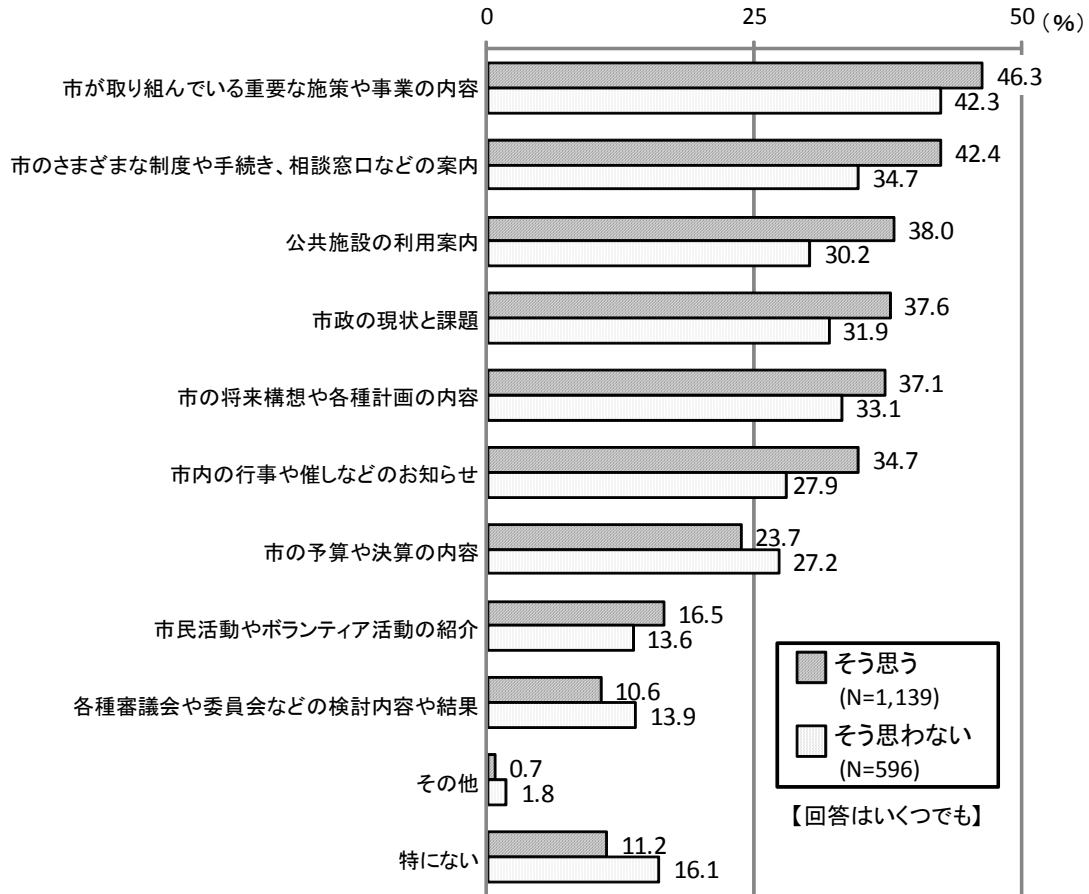
「重要な施策や事業の内容」「市の制度や手続き、相談窓口などの案内」が4割前後。

問 18 あなたは、多くの人が市の施策を身近に感じるようになるためには、どのような市政情報の発信が重要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■図6-3 市民への情報提供が十分に行われているかの評価別にみた重要と思う情報発信

◇多くの項目で『そう思う』人の割合が高くなっているが、「市の予算や決算の内容」「各種審議会や委員会などの検討内容や結果」は市民への情報提供が十分に行われていないと思う人の割合が高い。



『そう思う』……『そう思う』『どちらかといえばそう思う』の合計
 『そう思わない』……『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』の合計



◆属性別特徴

【性別】男性は「市の将来構想や各種計画の内容」「市の予算や決算の内容」が女性に比べ高い。女性は「市のさまざまな制度や手続き、相談窓口などの案内」「公共施設の利用案内」「市内の行事や催しなどのお知らせ」が男性より高い。

【年齢別】

- ・「市のさまざまな制度や手続き、相談窓口などの案内」は50歳代で5割弱と高くなっている。
- ・「公共施設の利用案内」は30歳代から50歳代でやや高い。
- ・「市内の行事や催しなどのお知らせ」は30歳代で最も高くなっている。

【ブロック別】

- ・「市の将来構想や各種計画の内容」は中央部で高くなっている。
- ・「市内の行事や催しなどのお知らせ」は東部B、北部Bで2割台の前半と比較的低くなっている。

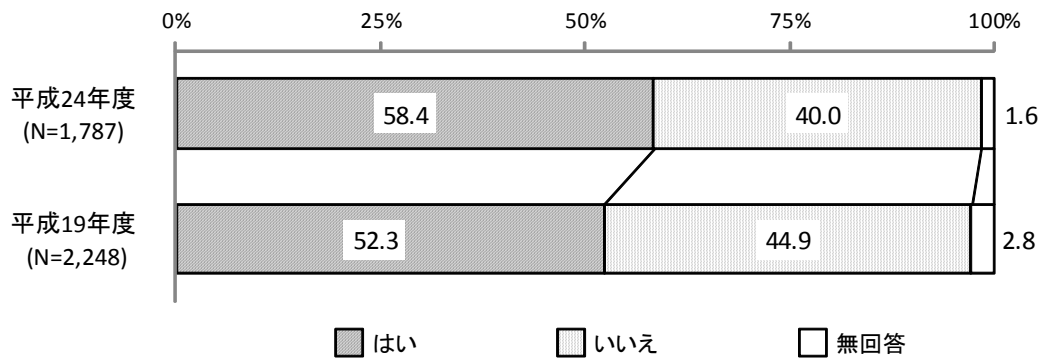
		標本数 (票)	市の施策を身近に感じるために重要な情報 (%)											
			市が取り組んでいる重要な内容	市の将来構想や各種計画の内容	市の予算や決算の内容	市政の現状と課題	検討内容や結果	各種審議会や委員会などの	市のさまざまな制度や案内	公共施設の利用案内	知らせの行事や催しなどのお	市民活動やボランティア活	その他	特にな
全体	(カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	44.3 (791)	35.1 (627)	24.6 (439)	35.0 (625)	11.6 (207)	39.1 (698)	34.6 (618)	31.6 (565)	15.3 (273)	1.2 (21)	12.9 (231)	3.0 (54)
性別														
	男性	821	45.4	39.1	28.0	35.3	12.7	35.0	31.1	27.3	13.0	0.6	14.1	2.6
	女性	966	43.3	31.7	21.6	34.7	10.7	42.5	37.6	35.3	17.2	1.7	11.9	3.4
年齢別														
	20歳代	195	42.6	28.7	25.1	32.8	10.3	33.3	32.8	34.4	20.0	1.5	20.5	-
	30歳代	313	45.7	31.9	30.0	36.7	11.8	38.0	39.0	38.3	18.2	1.3	11.8	1.3
	40歳代	288	41.3	34.0	27.1	34.7	12.5	36.5	41.0	34.4	15.3	1.4	13.2	2.1
	50歳代	364	46.7	39.3	25.8	37.9	11.8	47.8	39.6	32.4	15.1	0.5	8.8	3.6
	60歳代	393	46.1	36.6	17.8	35.1	10.7	42.2	30.5	29.5	13.7	1.5	12.7	3.1
	70歳以上	234	40.6	36.8	23.1	29.9	12.4	29.5	21.4	19.2	10.3	0.9	14.5	8.1
性別×年齢別														
	男性:20歳代	87	42.5	25.3	27.6	32.2	11.5	24.1	24.1	31.0	19.5	1.1	27.6	-
	男性:30歳代	132	43.9	31.8	37.1	38.6	11.4	34.8	35.6	28.8	14.4	-	12.9	2.3
	男性:40歳代	150	40.0	34.7	28.7	27.3	13.3	31.3	40.0	30.0	11.3	2.0	14.7	3.3
	男性:50歳代	161	47.2	46.0	28.6	36.0	12.4	41.6	32.9	30.4	10.6	0.6	8.7	3.7
	男性:60歳代	178	47.8	42.7	19.7	38.2	10.7	40.4	25.3	22.5	14.0	-	14.6	2.2
	男性:70歳以上	113	50.4	48.7	29.2	38.9	17.7	30.1	25.7	22.1	10.6	-	11.5	2.7
	女性:20歳代	108	42.6	31.5	23.1	33.3	9.3	40.7	39.8	37.0	20.4	1.9	14.8	-
	女性:30歳代	181	47.0	32.0	24.9	35.4	12.2	40.3	41.4	45.3	21.0	2.2	11.0	0.6
	女性:40歳代	138	42.8	33.3	25.4	42.8	11.6	42.0	42.0	39.1	19.6	0.7	11.6	0.7
	女性:50歳代	203	46.3	34.0	23.6	39.4	11.3	52.7	44.8	34.0	18.7	0.5	8.9	3.4
	女性:60歳代	215	44.7	31.6	16.3	32.6	10.7	43.7	34.9	35.3	13.5	2.8	11.2	3.7
	女性:70歳以上	121	31.4	25.6	17.4	21.5	7.4	28.9	17.4	16.5	9.9	1.7	17.4	13.2
ブロック別														
	東部A	128	44.5	26.6	20.3	34.4	13.3	42.2	32.8	35.9	15.6	1.6	11.7	2.3
	東部B(田主丸)	120	38.3	23.3	25.0	30.0	6.7	30.8	33.3	22.5	10.0	1.7	15.8	3.3
	北部A	161	48.4	35.4	28.0	36.0	8.7	36.0	33.5	27.3	18.6	2.5	11.2	1.2
	北部B(北野)	118	35.6	23.7	17.8	26.3	11.0	36.4	33.9	24.6	11.0	1.7	22.0	1.7
	中央東部	227	43.2	37.0	24.7	34.4	13.7	35.7	32.6	33.5	15.4	0.9	16.3	2.6
	南東部	187	44.4	35.8	22.5	31.0	7.5	39.6	34.2	33.2	18.7	1.1	12.3	2.7
	中央部	220	46.8	44.5	26.4	40.5	15.5	42.7	37.7	39.5	19.1	0.5	8.2	3.2
	中央南部	297	46.5	37.7	27.3	39.7	12.1	42.4	37.0	33.0	14.5	1.3	11.8	2.0
	南西部	154	46.1	35.7	23.4	29.9	12.3	39.0	35.7	30.5	11.0	0.6	13.6	4.5
	西部A(城島)	74	48.6	31.1	29.7	37.8	13.5	43.2	23.0	25.7	10.8	-	10.8	6.8
	西部B(三瀧)	101	38.6	40.6	21.8	38.6	10.9	38.6	38.6	29.7	17.8	1.0	10.9	6.9
提供情報														
評価	そう思う	1,139	46.3	37.1	23.7	37.6	10.6	42.4	38.0	34.7	16.5	0.7	11.2	1.6
	そう思わない	596	42.3	33.1	27.2	31.9	13.9	34.7	30.2	27.9	13.6	1.8	16.1	2.3
	無回答	52	23.1	15.4	13.5	13.5	5.8	15.4	9.6	7.7	7.7	3.8	15.4	42.3

6-2 インターネットの利用

(1) この1年間の利用状況

この1年間にインターネットを利用した人は58.4%で、前回調査よりやや増加。
20歳代では利用経験率が9割に上るが、70歳以上では1割台にとどまる。

問 19 あなたは、この1年間にインターネットを利用したことがありますか。



◆属性別特徴

【性別】男性の利用経験率は6割強で、女性よりやや高い。

【年齢別】20歳代では利用経験率が9割、30歳代、40歳代でも8割前後に上るが、年齢の上昇とともに利用経験率が低下し、70歳以上では15.0%となっている。

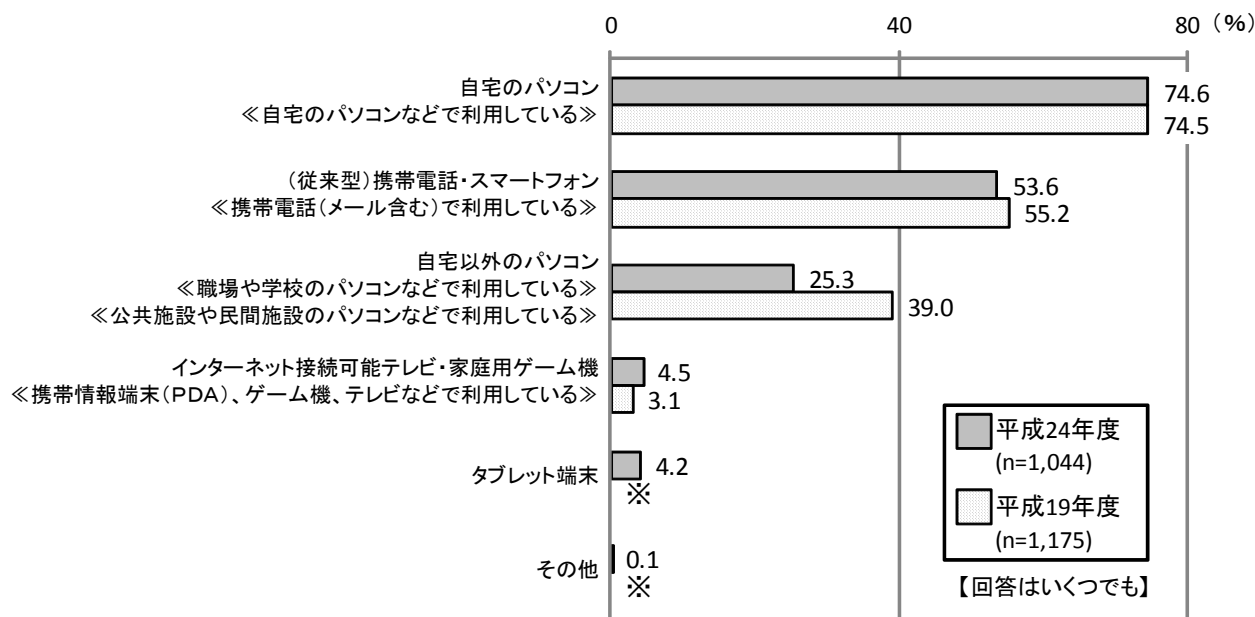
【ブロック別】ほとんどのブロックで5割後半から6割前半となっているが、北部B、南東部は5割強、西部Aでは4割台半ばにとどまる。

	標本数 (票)	この1年間に インターネット を利用した人
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	58.4 (1,044)
性別		
男性	821	61.6
女性	966	55.7
年齢別		
20歳代	195	89.7
30歳代	313	84.0
40歳代	288	78.8
50歳代	364	56.3
60歳代	393	35.4
70歳以上	234	15.0
ブロック別		
東部A	128	55.5
東部B(田主丸)	120	57.5
北部A	161	59.0
北部B(北野)	118	50.8
中央東部	227	60.4
南東部	187	53.5
中央部	220	63.6
中央南部	297	63.3
南西部	154	60.4
西部A(城島)	74	44.6
西部B(三瀧)	101	57.4

(2) ふだん利用している端末

使用する端末は「自宅のパソコン」が最も多く、利用経験者の約4分の3が利用している。
20歳代では利用経験者の6割がスマートフォンを利用している。

問19付問1 **問19で1に回答した人に** あなたはふだん、どんな端末を使ってインターネットを利用していますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



《 》内は平成19年度の項目
※は項目なし

◆属性別特徴

【性別】男性は女性よりパソコンでの利用が高く、女性は携帯電話での利用がやや高い。

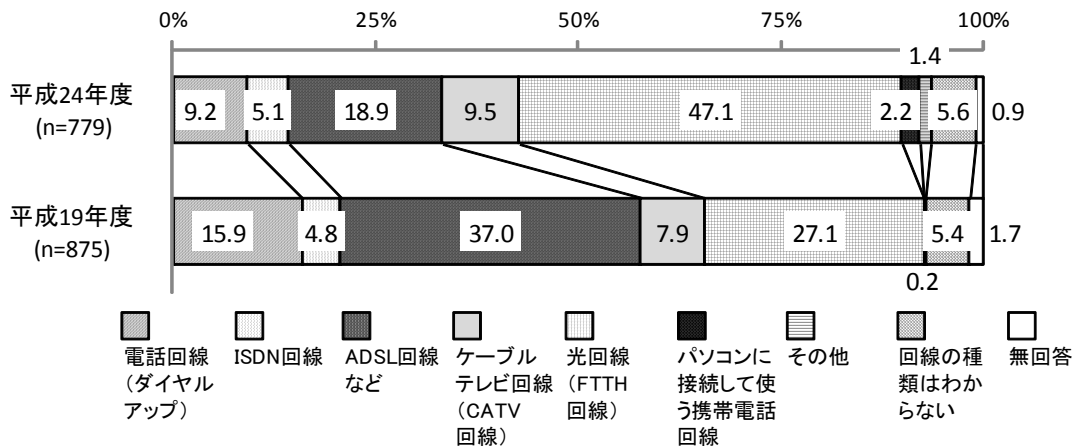
【年齢別】20歳代ではスマートフォンでの利用が6割に上っている。

	標本数 (票)	利用端末 (%)								
		自宅のパソコン	自宅以外のパソコン	(従来型)携帯電話	スマートフォン	タブレット端末	インターネット接続可能テレビ	家庭用ゲーム機	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,044)	74.6 (779)	25.3 (264)	25.2 (263)	28.4 (296)	4.2 (44)	1.8 (19)	2.7 (28)	0.1 (1)	2.3 (24)
性別										
男性	506	77.7	28.7	22.7	26.5	3.6	2.2	4.2	0.2	3.2
女性	538	71.7	22.1	27.5	30.1	4.8	1.5	1.3	-	1.5
年齢別										
20歳代	175	68.6	28.6	25.1	60.0	5.7	1.7	6.9	-	1.1
30歳代	263	71.5	27.4	28.9	31.2	4.2	1.1	2.7	-	3.4
40歳代	227	76.2	31.7	30.4	26.0	4.4	2.6	2.6	-	3.1
50歳代	205	80.0	24.4	17.1	18.0	3.9	2.4	1.0	-	1.5
60歳代	139	77.0	14.4	23.0	7.9	3.6	1.4	0.7	0.7	1.4
70歳以上	35	77.1	-	20.0	5.7	-	-	-	-	2.9

(3) ふだん利用している回線

家庭のインターネット接続は、「光回線」の利用が5割近くに上っており、5年前に比べ20ポイント増加している。

問 19 付問 1-1 問 19 付問 1 で 「1. 自宅のパソコン」 に回答した人に あなたのご家庭でインターネットに接続する場合、主にどの回線を利用していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【ブロック別】

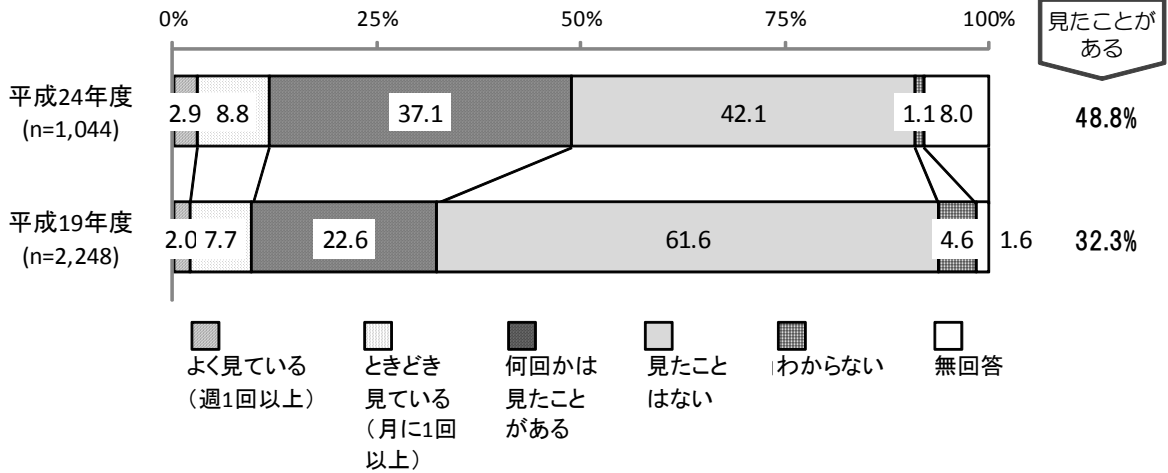
- ・自宅でインターネットを利用している人のなかで、光回線の普及している南西部、東部Bでは「光回線」が6割を超えている。
- ・東部A、西部A、西部Bでは「ADSL回線など」が3割を超えており、特に西部Bでは約5割が利用している。また、西部Aでは「ISDN回線」「ケーブルテレビ回線」「電話回線」も高い。

	標本数 (票)	自宅パソコンの使用回線 (%)								
		ア 電 話 回 線 (ダ イ ヤ ル ア ッ プ)	I S D N 回 線	A D S L 回 線 な ど	(ケ ー ブ ル テ レ ビ 回 線)	線 光 回 線 (F T T H 回 線)	使 う パ ソ コ ン に 電 話 接 続 し て	そ の 他	な い 回 線 の 種 類 は わ か ら ない	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (779)	9.2 (72)	5.1 (40)	18.9 (147)	9.5 (74)	47.1 (367)	2.2 (17)	1.4 (11)	5.6 (44)	0.9 (7)
東部A	58	17.2	3.4	34.5	5.2	32.8	1.7	-	5.2	-
東部B(田主丸)	49	8.2	4.1	26.5	-	61.2	-	-	-	-
北部A	73	11.0	6.8	13.7	9.6	49.3	1.4	1.4	5.5	1.4
北部B(北野)	39	12.8	5.1	28.2	15.4	17.9	2.6	2.6	15.4	-
中央東部	104	8.7	5.8	14.4	9.6	53.8	1.9	1.9	3.8	-
南東部	71	9.9	5.6	8.5	4.2	46.5	4.2	5.6	12.7	2.8
中央部	117	7.7	3.4	13.7	13.7	53.8	3.4	-	2.6	1.7
中央南部	136	2.2	5.9	16.2	10.3	55.1	2.2	0.7	5.9	1.5
南西部	70	10.0	4.3	10.0	4.3	65.7	1.4	-	4.3	-
西部A(城島)	23	21.7	17.4	34.8	26.1	-	-	-	-	-
西部B(三瀬)	39	12.8	-	48.7	15.4	5.1	2.6	5.1	10.3	-

(4) 久留米市のホームページについて

久留米市のホームページを見たことがある人は 48.8%で、前回調査に比べ 16.5 ポイント増加している。

問 19 付問 2 **問 19 で 1 に回答した人に** あなたは、久留米市のホームページを見たことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ〇印)



■ ホームページの閲覧状況別にみた、市の施策を身近に感じるために必要な情報

◇よく見ているは、「市のさまざまな制度や手続き、相談窓口などの案内」が6割以上となっている。ときどき見ている、何回かは見たことがあるは、「市が取り組んでいる重要な施策や事業の内容」がそれぞれ、6割弱と5割強。

	標本数 (票)	(この1年間にインターネットを利用した人) 問18. 市の施策を身近に感じるために重要な情報 (%)												
		要市 な取 施の 策取 り組 みや 組 んで の重 容	画市 のの 内将 容来 構 想や 各 種 計	市 の予 算や 決 算の 内 容	市 政の 現 状と 課 題	ど 各 種 の 検 審 討 内 容 や 委 員 会 な	の 手 続 き 、 相 談 窓 口 な ど や	市 のさ ま ざ ま な 制 度 な ど	公 共 施 設 の 利 用 案 内	の市 お 内 知 ら せ 事 や 催 し な ど	ア市 活民 動活 の動 の動 介 や ボ ラ ン テ イ	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,044)	48.7 (508)	38.8 (405)	28.2 (294)	39.8 (416)	12.7 (133)	39.7 (414)	39.9 (417)	36.5 (381)	18.5 (193)	1.3 (14)	10.2 (106)	1.9 (20)	
ペ ー ジ の 見 た 状 況	よく見ている(週1回以上)	30	46.7	53.3	33.3	50.0	16.7	66.7	36.7	26.7	33.3	-	-	-
	ときどき見ている(月に1回以上)	92	57.6	47.8	27.2	46.7	14.1	44.6	47.8	48.9	22.8	5.4	1.1	1.1
	何回かは見たことがある	387	50.4	39.0	28.9	45.7	15.0	42.6	41.9	37.7	19.6	1.6	8.0	2.3
	見たことはない	440	47.7	36.1	27.0	34.3	11.4	34.8	38.2	34.1	16.4	0.7	13.0	1.6
	わからない	11	45.5	36.4	45.5	54.5	18.2	54.5	54.5	27.3	9.1	-	18.2	-
無回答	84	36.9	36.9	27.4	28.6	6.0	34.5	31.0	34.5	15.5	-	17.9	3.6	

◆属性別特徴

【性別・年齢別】

- ・60歳代男性、70歳以上女性では『月に1回以上』見ている人がインターネット利用者の2割を超えている。
- ・20歳代男性と40歳代、70歳以上女性では「見たことはない」が5割を超えている。

【ブロック別】東部A、北部B、西部Bは「見たことはない」が5割以上となっている。

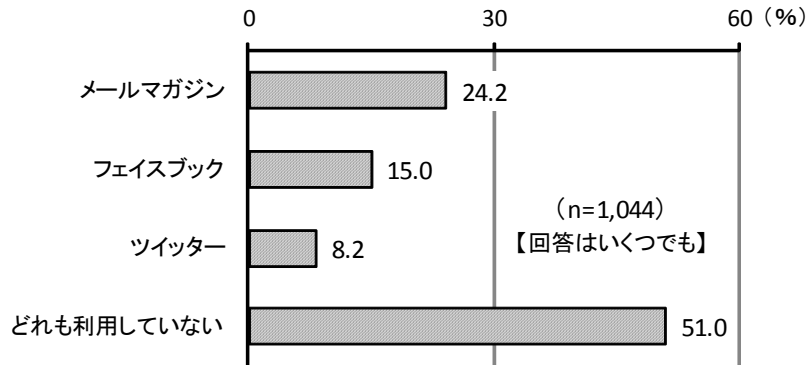
【市政情報発信の評価別】『そう思う』『そう思わない』で差はみられない。

		標本数 (票)	久留米市のホームページを見たことがあるか (%)					無回答
			(よく1回以上)	(ときどき1回以上)	が何回かは見たこと	見たことはない	わからない	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,044)	2.9 (30)	8.8 (92)	37.1 (387)	42.1 (440)	1.1 (11)	8.0 (84)
性別 × 年齢別	男性:20歳代	76	1.3	2.6	27.6	52.6	6.6	9.2
	男性:30歳代	111	2.7	5.4	36.0	45.0	-	10.8
	男性:40歳代	121	3.3	6.6	43.8	36.4	0.8	9.1
	男性:50歳代	96	4.2	12.5	44.8	36.5	-	2.1
	男性:60歳代	84	7.1	14.3	28.6	42.9	-	7.1
	男性:70歳以上	18	5.6	11.1	44.4	33.3	-	5.6
	女性:20歳代	99	2.0	10.1	32.3	44.4	1.0	10.1
	女性:30歳代	152	2.6	7.9	46.1	33.6	0.7	9.2
	女性:40歳代	106	1.9	9.4	33.0	51.9	0.9	2.8
	女性:50歳代	109	1.8	7.3	39.4	42.2	-	9.2
女性:60歳代	55	-	12.7	30.9	41.8	1.8	12.7	
女性:70歳以上	17	5.9	17.6	5.9	58.8	5.9	5.9	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	71	1.4	2.8	42.3	50.7	-	2.8
	東部B(田主丸)	69	2.9	10.1	34.8	40.6	2.9	8.7
	北部A	95	5.3	10.5	31.6	46.3	1.1	5.3
	北部B(北野)	60	1.7	3.3	36.7	51.7	-	6.7
	中央東部	137	0.7	10.2	31.4	47.4	2.2	8.0
	南東部	100	2.0	7.0	34.0	44.0	1.0	12.0
	中央部	140	2.1	10.7	41.4	35.7	0.7	9.3
	中央南部	188	4.8	8.5	39.9	36.7	1.1	9.0
	南西部	93	2.2	10.8	46.2	33.3	1.1	6.5
	西部A(城島)	33	6.1	9.1	30.3	39.4	-	15.2
西部B(三潁)	58	3.4	10.3	31.0	50.0	-	5.2	
提 供 情 報 評 価	そう思う	657	3.3	9.1	37.1	42.0	0.9	7.5
	そう思わない	373	2.1	8.0	37.8	42.4	1.3	8.3
	無回答	14	-	14.3	14.3	42.9	-	28.6

(5) インターネットメディアの利用

インターネット利用者のうち、メールマガジンは約4人に1人、フェイスブックは約7人に1人、ツイッターは約12人に1人が利用している。

問 19 付問3 **問 19 で 1 に回答した人に** 現在、さまざまな情報収集の手段として、次のようなインターネットメディアを利用していますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別・年齢別】

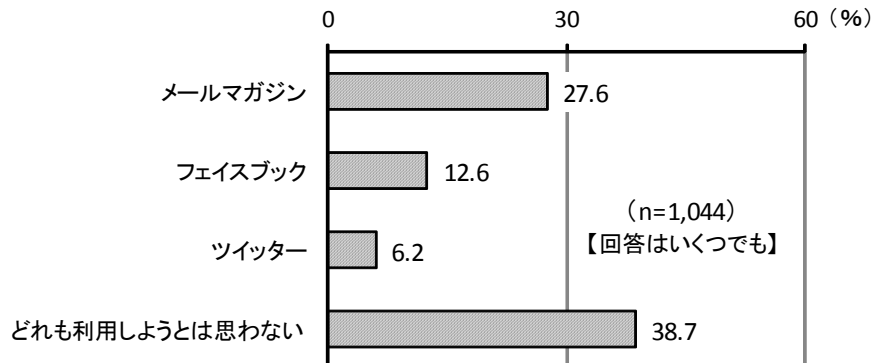
- ・「メールマガジン」は20歳代女性で4割と高くなっている。
- ・「ツイッター」は男性女性ともに20歳代では2割が利用しているが、他の年代では1割に満たない。
- ・「フェイスブック」は20歳代男性の3割、20歳代女性の4割が利用しており、30歳代の男女でも約2割が利用している。

	標本数 (票)	利用しているインターネットメディア (%)					
		メールマガジン	ツイッター	フェイスブック	いど なれ いも 利用 して	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,044)	24.2 (253)	8.2 (86)	15.0 (157)	51.0 (532)	13.4 (140)	
性別 × 年齢別	男性:20歳代	76	26.3	21.1	30.3	32.9	15.8
	男性:30歳代	111	27.9	7.2	18.0	43.2	15.3
	男性:40歳代	121	21.5	8.3	13.2	54.5	12.4
	男性:50歳代	96	24.0	3.1	11.5	54.2	12.5
	男性:60歳代	84	14.3	4.8	3.6	71.4	9.5
	男性:70歳以上	18	16.7	-	-	72.2	11.1
	女性:20歳代	99	40.4	21.2	40.4	24.2	10.1
	女性:30歳代	152	29.6	7.2	19.1	46.7	9.2
	女性:40歳代	106	26.4	4.7	5.7	56.6	13.2
	女性:50歳代	109	17.4	5.5	4.6	59.6	18.3
	女性:60歳代	55	10.9	3.6	5.5	69.1	18.2
女性:70歳以上	17	-	-	5.9	58.8	35.3	

(6) 市政情報取得に利用してもよいインターネットメディア

市の情報を得るために利用してもよいと思うメディアは「メールマガジン」が27.6%である。「フェイスブック」「ツイッター」の利用希望は1割前後。

問 19 付問4 **問 19 で 1 に回答した人に** 次のメディアによって、市からのお知らせやイベントなどの情報発信を行った場合、あなたが利用してもよいと思うものはありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別・年齢別】

- ・「メールマガジン」は40歳代、50歳代の男性と30歳代、40歳代の女性で3割を超えており比較的高い。
- ・「ツイッター」は20歳代、70歳以上の男性と20歳代の女性で1割をやや超えている。
- ・「フェイスブック」は20歳代の男性女性ともに2割台半ばに上っている。

	標本数 (票)	利用してもよいと思うメディア (%)					
		メールマガジン	ツイッター	フェイスブック	うど どれも はも 思利 わ用 なし いよ	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,044)	27.6 (288)	6.2 (65)	12.6 (132)	38.7 (404)	20.8 (217)	
性別 × 年齢別	男性:20歳代	76	15.8	11.8	26.3	35.5	22.4
	男性:30歳代	111	26.1	4.5	15.3	37.8	21.6
	男性:40歳代	121	33.1	6.6	9.9	40.5	16.5
	男性:50歳代	96	35.4	5.2	11.5	38.5	14.6
	男性:60歳代	84	26.2	3.6	7.1	44.0	23.8
	男性:70歳以上	18	22.2	11.1	-	38.9	27.8
	女性:20歳代	99	26.3	12.1	27.3	30.3	15.2
	女性:30歳代	152	31.6	3.9	12.5	40.1	15.1
	女性:40歳代	106	34.9	5.7	7.5	36.8	22.6
	女性:50歳代	109	25.7	6.4	8.3	37.6	26.6
	女性:60歳代	55	14.5	1.8	3.6	49.1	30.9
	女性:70歳以上	17	-	5.9	5.9	41.2	52.9

考察 — 広報・インターネット —

●市民への情報提供を市民の6割以上が肯定的に評価しているが、若い世代への情報提供のあり方が課題

久留米市による市民への情報提供に関しては、6割以上が肯定的に評価をしていた。しかし、年齢別では年齢の高い層では肯定的評価が多いが、20歳代全体では5割弱、20歳代男性に限れば5割以上が否定的な評価となっており、若い世代に情報が十分に届いていない状況がうかがえる。一般に、若い世代ほど自治会や町内会への加入率が低い傾向がみられることから、それらの組織を通じた情報提供は若い世代には届きにくいのではないかとと思われる。

また、「『広報くるめ』で知らせてほしい情報」（問17）および「市民が久留米市の施策を身近に感じるために必要な情報発信」（問18）を市政情報発信の評価別にみると、市の情報提供に対する評価が特に低い20代男性では、ともに「特にない」が3割弱に上っていた。市の情報に触れる機会が少ないことがこのような回答につながっていると考えられ、様々な世代の人に必要な情報を適切に提供するための方法について検討する必要がある。

■性別・年齢別、ブロック別にみた市民への情報提供の評価■

	標本数 (票)	市民への情報提供が十分に行われているか (%)							
		そう思う	ぼど そちら うら 思か うと いえ	ぼど そちら うら 思か わと ない え	そう 思 わ な い	無 回 答	『 そう 思 う 』	『 そう 思 わ な い 』	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	13.9 (248)	49.9 (891)	22.2 (397)	11.1 (199)	2.9 (52)	63.8 (1,139)	33.3 (596)	
性別 × 年齢別	男性:20歳代	87	5.7	40.2	29.9	23.0	1.1	45.9	52.9
	男性:30歳代	132	9.8	47.0	23.5	16.7	3.0	56.8	40.2
	男性:40歳代	150	7.3	41.3	30.0	18.7	2.7	48.6	48.7
	男性:50歳代	161	9.3	49.1	24.8	14.3	2.5	58.4	39.1
	男性:60歳代	178	18.0	48.9	22.5	8.4	2.2	66.9	30.9
	男性:70歳以上	113	23.0	49.6	20.4	5.3	1.8	72.6	25.7
性別 × 年齢別	女性:20歳代	108	16.7	41.7	27.8	13.9	-	58.4	41.7
	女性:30歳代	181	11.6	59.7	17.1	11.0	0.6	71.3	28.1
	女性:40歳代	138	13.8	53.6	21.7	10.9	-	67.4	32.6
	女性:50歳代	203	15.8	52.2	23.2	5.4	3.4	68.0	28.6
	女性:60歳代	215	16.7	53.0	17.7	7.9	4.7	69.7	25.6
	女性:70歳以上	121	16.5	52.1	13.2	5.8	12.4	68.6	19.0
ブ ロ ッ ク 別	東部A	128	17.2	50.0	21.1	7.0	4.7	67.2	28.1
	東部B(田主丸)	120	14.2	47.5	24.2	10.0	4.2	61.7	34.2
	北部A	161	13.7	48.4	24.2	11.8	1.9	62.1	36.0
	北部B(北野)	118	11.9	49.2	15.3	19.5	4.2	61.1	34.8
	中央東部	227	13.2	48.0	23.8	13.7	1.3	61.2	37.5
	南東部	187	17.6	51.9	21.4	5.3	3.7	69.5	26.7
	中央部	220	12.7	56.4	20.9	8.6	1.4	69.1	29.5
	中央南部	297	12.1	47.5	24.9	13.8	1.7	59.6	38.7
	南西部	154	13.6	49.4	21.4	11.7	3.9	63.0	33.1
西部A(城島)	74	16.2	47.3	23.0	8.1	5.4	63.5	31.1	
西部B(三潞)	101	12.9	51.5	19.8	10.9	5.0	64.4	30.7	

●市民への情報提供の満足度を高めるためには、どのような人々がどのような情報を求めているかを見極めることが必要

市民は具体的にどのような情報について知りたいと思っているのだろうか。「広報くるめ」で知らせて欲しい情報の分野としては、「保健や医療などの健康に関すること」が最も多く、その他「健康保険や年金制度のこと」「防災や救急に関すること」「税金や市の財政に関すること」などが上位にあがっている。

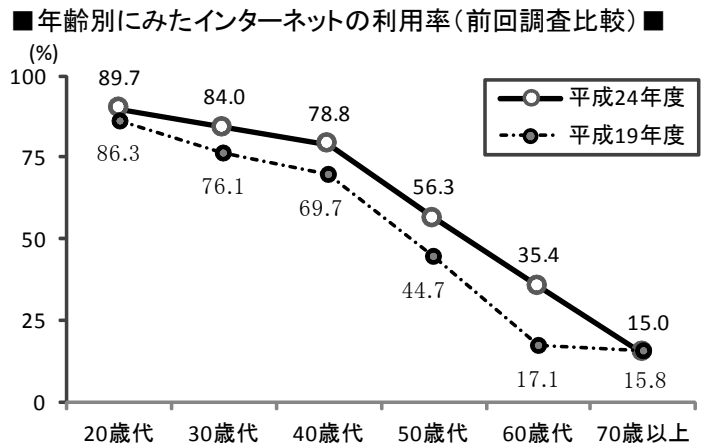
しかし、回答者の属性によって知りたい情報の内容は異なる。性別・年齢別でみると、「保健や医療などの健康に関すること」はほとんどの層で4割台から5割台が希望しているが、20歳代男性では2割代後半と関心の低さがうかがえる。「子育てや児童保育に関すること」は、男女

とも小さい子どもをもつ人が多いと思われる20歳代、30歳代で高く、特に30歳代女性で関心が高い。「学校教育や青少年健全育成に関すること」も、小中学生の保護者世代の30歳代、40歳代で関心が高くなっている。一方、「高齢者や障害者の福祉に関すること」は男女とも60歳以上の層での関心が高い。また、「防災や救急に関すること」など、属性によるばらつきが比較的小さい項目もある。こうしたことを踏まえ、どのような人々がどのような情報を求めているかを考慮し、紙面づくりを工夫していくことで、市民への情報提供への満足度を高めていくことが必要になるだろう。

●インターネットの利用について60歳代までは、世代間格差が縮小する傾向

この1年間にインターネットを利用した人の割合は6割弱で、平成19年度調査（以下、「前回調査」とする）からやや増加した。年齢別の利用率をみると、年齢が高くなるほど利用率が低くなっており、20歳代ではほぼ9割、30歳代、40歳代でも8割前後に上るが、70歳以上では15.0%にとどまっており、世代間の差が大きくなっている。

また、年齢別の利用率を前回調査と比較すると、60歳代までは年齢が高くなるほど前回調査からの上昇率が高くなっており、60歳代では前回調査の17.1%から35.4%と倍増している。そのため、60歳代まではインターネット利用の世代間格差がやや縮小してきているといえる。しかし、70歳以上の利用率は前回調査とほぼ同じ結果となっており、この年齢層では利用率が低いばかりでなく、インターネットの利用が拡大しておらず、他の年齢層との利用率の格差が拡大していることがうかがえる。



●市政情報の提供方法についての工夫や魅力あるサイトづくりが課題

過去1年間のインターネット利用者のうち、久留米市のホームページを見たことがある人は5割弱で、前回調査に比べ16.5ポイントの増加だが、増加分のほとんどは「何回かは見たことがある」人であった。インターネット利用者の増加にともない、市のホームページにアクセスしたことがある人は増えたが、定期的に確認する人はさほど増えていないようである。

属性別にアクセスの状況をみると、60歳代男性と70歳以上女性では『月に1回以上』見ている人がインターネット利用者の2割を超えている。しかし、この層はそもそもインターネット利用者の割合があまり高くなく、インターネット利用者以外も含めた全体からすると、ホームページ閲覧者の割合は高いとはいえない。一方、20歳代男性は、インターネット利用率は高いものの市のホームページは「見たことはない」が5割を超えている。今後インターネットを活用した情報提供を考えていくにあたって、市政情報への関心をもってもらうためには、提供方法の工夫や魅力あるサイトづくりが必要とされてくるだろう。

例えば、情報収集の手段としてメールマガジンやツイッター、フェイスブックを利用してい

る人はまだ一部だが、20歳代ではフェイスブックを利用している人が男性で3割、女性で4割、ツイッターは男女とも約2割、メールマガジンは女性で4割と、若い世代ではこれらのメディアの利用が高くなっている。市の情報を得るために利用してもよいと思うメディアを尋ねた質問では、これらのメディアのどれも利用しようと思わないとの回答が4割に上ってはいるものの、20歳代では男女ともフェイスブックが約4分の1、ツイッターが1割強となっている。これらのメディアを活用した情報提供を行うことで、若い世代の人々が市の情報にふれる機会を増加させる可能性は小さくないと考えられ、一つの方法として検討する余地はあるだろう。

●市民への情報提供にあたっては、従来の情報メディアと新しい情報メディアの両方をともに活用することが重要

また、インターネットを活用した情報提供を考えるにあたっては、市民のインターネット利用環境についても留意する必要がある。インターネット接続のための利用回線の状況は、居住地域による差が大きくなっている。東部B（田主丸）、南西部など光回線の利用が6割を超える地域がある一方、ADSL回線やケーブルテレビ回線の利用が中心の地域もある。回線によって通信量や通信速度が異なるため、大容量回線の利用率が低い地域への配慮が必要である。

性別や年齢別による利用端末の違いをみると、男性は女性に比べてパソコンでの利用が多く、女性は男性より携帯電話、スマートフォンを使用している人が多い。年齢別では、20歳代のスマートフォン使用率が6割と際立って高くなっている。また、20歳代では家庭用ゲーム機やタブレット端末の使用も比較的高くなっており、この年代では「いつでもどこでも」インターネットが利用できる状況にある人が多いと考えられる。一方、70歳以上では使用端末が自宅のパソコンにほぼ集中しており、自宅以外でもインターネットを利用できる人はインターネット利用者の4分の1程度にとどまるとみられる。

さらに、先述したようにそもそものインターネット利用率が世代によって大きく異なっている。インターネットを活用した情報提供は、自治会等を通じた情報提供が難しい若い世代へのアプローチが期待できる他、速報性の高い情報提供が行えるなどの利点もあるが、インターネットでの情報提供に重きを置きすぎると、特に高齢層に多いインターネット非利用者との情報格差が生じることが懸念される。市民への情報提供にあたっては、従来の情報メディアと新しい情報メディアの両方をともに活用することが重要であろう。